



学校だより

たかくだより

スローガン

『たくましく生きる高久の子』

那須町立高久小学校

令和3年6月2日発行
文責：伊藤 いつみ



高久小の学校教育目標

たか
く

の人を思いやる子
んがえて勉強する子
じけずにがんばる子

那須町の教育スローガン

『夢、感動あふれる人づくり』

時の記念日

自由時間を生み出せる子に…



5月後半より雨天の日が多くなり、どうしても室内の活動が多くなっていますが、新型コロナウイルスの変異株の感染増加や近隣都県の感染拡大傾向もあり、感染防止対策は気を緩めることなく行っています。各御家庭でも、引き続き御協力をお願いいたします。

4月に地震による避難訓練を行いました。5月には予告なしの避難訓練を実施しました。昼休みに図工室から火事起きたという想定でしたが、子どもたちは放送を良く聞いて、出火場所に近付くことなく避難することができました。その時、校庭で遊んでいた子どもたちの様子に感心しました。2年生から6年生まで、20名弱だったのでしょうか。グラウンドの中央に避難した後、6年生が自主的に学年毎に整列させていました。放送で避難場所を聞いた後は、静かに移動させて、そこにほかの児童が避難することを考えて、間隔を空けて待つことができました。しっかりと自分たちで考えて行動できたこと、素晴らしいと称賛しました。

さて、6月10日は、「時の記念日」。日本で初めての水時計が時を打った日で、「時間を大切にする」ことを広めるために作られた記念日です。学校でも、6月の生活目標は、「時間を守って生活しよう」です。子どもたちが各家庭に帰って過ごす限られた時間を上手に使って、家庭学習のほかに自分の好きなことをやる時間を生み出すことができれば素晴らしいと思います。朝会でも、時間を大切にして欲しいと話しました。

「自律・自立」に向け、学ぶ子どもたちの姿

【全校道徳 5/21】



他の班の考えを交流します

本校は、昨年度から、異年齢集団活動の一つとして全校道徳に取り組んでいます。5月には、「どうして正義のヒーローは、悪者を殴っていいんだろう？」というテーマで清掃の縦割り班で道徳を行いました。「テレビのヒーローは殴っていても、自分は友達をなぐってはいけない…」テーマを自分事として捉えて考えることで、低学年でも上級生がなるほどと思うような考えを発表する児童がいました。

「テレビは、現実じゃない」「友達は悪者じゃない」「ヒーローは世界を守るから」・・・

通常の各学年で行う道徳と違って、この全校道徳は、高学年のリーダーシップや、ファシリテーション（話し合いが上手く進行するように、参加メンバーに問題を示し、問い

かけ、思考を広げ、知恵を引き出し、意欲を高めていくこと）の力を育てることが出来ます。

教室ではおとなしいある高学年の女児が、自らの考えを熱心に話していました。後日その子に話を聞いたところ、「全校道徳は、ほかの学年のいろんな考えを聞けるからいい。全校道徳は好き。」と言っていました。教室ではなかなか発言できない児童も、異学年との交流で、臆すること無く自分の考えを述べたり、上級生だけでなく下級生の意見もきちんと聞いて自分の考えと比較したり考えたりしている姿は、素晴らしい。とてもすてきだと思いました。

さらに、リーダーとして班をまとめる6年生の姿は、下級生にとってはカッコいい存在で、あこがれや目標となるものです。身近なところで自律・自立した高学年の姿を見ることが出来ます。

高久小では、年に数回全校道徳を行っていきます。



班の考えを出しまとめていきます

《 PTA奉仕作業 5/29 》



広い校庭もきれいになりました

駐車した車も見えるようになり、安全面も強化されました。御協力ありがとうございました。

朝の涼しさが徐々に蒸し暑さに変わる中でしたが、38名の保護者の皆様と3名の学校運営協議会の方々に御参加いただき、教職員合わせて総勢53名でPTA奉仕作業を実施いたしました。

校庭周辺の草刈りや植え込みの刈り込み、花壇周辺の草取りなどに汗を流していただきました。約1時間半の作業後には、見違えるほど校庭がきれいになりました。

ソフトバックネットから駐車場に



ドウダンもきれいに刈り込まれました

『地域連携コーナー』【たくさんの御協力ありがとうございます!】

《 新体力テスト 5/19 》

5月19日の新体力テストには、保護者の方3名、地域のボランティアの方が3名いらして、体育館で「反復横跳び」などのお手伝いをしてくださいました。跳んだ数を数えるのは低学年には難しいので、大変助かりました。スムーズに種目が進み、予定時間で終了することができました。次年度も、ボランティア募集の予定です。

《 ソフト部の指導 》

25日は下校前の急な雷で、引き渡しとなりました。外での部活動の練習もできなくなりました。ソフト部は、現在監督も務めてくださっている相馬克至さんが、ふれあいホールでソフト部員に試合やルールについてのミーティングを行ってくださいました。子どもたちは、ボールの行方に沿った自分たちの動き方などを真剣に考えていました。平日の練習や休日の大会・練習試合などに子どもたちの指導に当たってくださっています。



ソフト部ミーティング



おばあちゃん達と一緒に苗植えです!

《 さつま苗植え 5/26 》

8名の地域の方がボランティアとしてお手伝いくださり、1・2年生のさつま苗植えを行いました。民生委員の鈴木健司さんが耕して下さっていた畑に、前日から、地域教育コーディネーターの平山淳一郎さんが準備にいらしてくださいました。

段取8分と言われるように、おかげでマルチがけも手早く終わり、4・5年生のヘチマ棚やカボチャ畑の手直しもしていただきました。さつまの苗植えは、昨年度は学校休業中で実施できませんでしたので、2年生も今年が初めてです。話を良く聞いて、上手に植えることができました。次の日に雨天となったのも幸いでした。しっかりと根付いてくれることと思います。

《 田植え 5/28 》

田植えは、雨による延期を経て、28日に無事に実施することができました。天気にも恵まれ、子どもたちは田んぼの水が温いことを体感しながら、楽しそうに植えていました。転んで泥だらけになる子もいましたが、楽しそうでした。

地域づくり委員会の皆様には、田んぼ回りの草刈りから田植えの準備まで、大変お世話になりました。

今後も、稲刈りまでの水の管理等をしていただくこととなります。

また、漁協の平山さんがドジョウを持ってきてくださり、皆で観察しました。5年生は田んぼにドジョウを放すことの利点をお聞きし、環境についても考えることができました。芭蕉っ子田んぼは学校のすぐ側という好立地です。子どもたちには、田んぼの苗やドジョウの様子を気に掛けて、お米になる秋までの成長の様子を観察して欲しいと思います。



ドジョウを田んぼに放しました



高久小ホームページQRコード